



2026年5月15日

各位

会社名 Hm c o mm株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司  
(コード:265A、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学  
(TEL. 03-6550-9830)

## 次世代AI実装事業「FDE (Forward Deployed Engineer)」開始に関するお知らせ

～3件のM&A統合により「AI導入実装プラットフォーム」を本格始動～

当社は、本日開催の取締役会において、生成AI・AIエージェント・音声AI・Hm c o mm独自のAIOps (Artificial Intelligence for IT Operations) 技術等を活用し、顧客業務の変革とシステム実装を一体で推進する次世代AI実装事業「FDE (Forward Deployed Engineer)」事業（以下、「本事業」）を開始することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本事業は、これまで当社が実施してきた3件のM&A（注1～3）および事業基盤拡張により、開発・運用・AI実装体制の統合が進み、事業開始に必要な基盤が整ったことを受け、本格始動するものであります。

### 1. 事業開始の背景

国内IT市場では、DX需要の拡大に加え、生成AI活用ニーズが急速に高まっております。一方、多くの企業では、AIをどう業務へ組み込むべきか分からない、AI導入後の運用定着が進まない、AIと既存システムの接続が困難、AI活用を推進できる実装人材が不足している等の課題を抱えております。

当社はこれまで、「音×AI」のスペシャリストとして、音声認識、自然言語処理、AI要約、AI音声エージェント、AI解析技術等を開発してまいりました。さらに近時実施した3件のM&A等により、システム開発機能、インフラ・運用保守体制、SI/SES領域、DX推進ノウハウ、エンタープライズ顧客基盤を拡充してまいりました。

これにより、AI技術を単なるPoCに留めず、顧客現場への実装・運用定着まで推進可能な体制が整ったことから、「FDE (Forward Deployed Engineer)」事業を開始することといたしました。

### 2. FDE (Forward Deployed Engineer) とは

FDE (Forward Deployed Engineer) とは、顧客現場に深く入り込み、生成AI・AIエージェント・音声AI・Hm c o mm独自のAIOps 技術等を活用しながら、業務変革とシステム実装を一体で推進する次世代型AIエンジニアリングモデルであります。

従来型SESが「開発リソース提供」を主目的としていたのに対し、FDEは、顧客業務分析、AI導入設計、AIシステム実装、AI運用最適化、継続改善までを一気通貫で提供いたします。当社は、単なるシステム受託会社ではなく、「AIを業務へ実装するAIネイティブSI企業」への進化を目指してまいります。

### 3. FDE事業の概要

当社FDE事業では、以下のサービスを展開いたします。

#### (1) AI導入コンサルティング

生成AI導入支援、AIエージェント設計、コンタクトセンターAI化、AIOps導入、業務自動化支援等を提供いたします。

#### (2) AIシステム実装

LLM統合、音声AI実装、AIワークフロー構築、API統合、AIアプリケーション開発等を提供いたします。

#### (3) AI運用最適化

AI チューニング、運用改善、AI 分析、KPI 最適化、継続保守運用等を提供いたします。

#### (4) 自社 AI プロダクト連携

当社 AI 音声エージェント「Terry2 mini」、AI 議事録プロダクト「ZMEETING」、AI 解析技術等との連携を進め、将来的には企業業務全体を支える「AI 導入実装プラットフォーム」への発展を目指してまいります。

#### 4. 本事業の戦略的意義

当社は、本事業を通じて、AI 高付加価値化、ストック型収益拡大、AI 運用継続収益、SaaS 化、AI エージェント化を推進してまいります。

また、今後の M&A や事業提携においても、FDE 基盤への統合を前提としたロールアップ戦略を推進し、「AI ネットティブ型 IT 企業グループ」の構築を目指してまいります。

#### 5. 事業開始のために特別に支出する金額及び内容

既存事業のノウハウと人員を活用して立ち上げる予定であり、立ち上げ費用について特別な費用は発生しない見込みです。

#### 6. 今後の日程

(1) 取締役会決議日	2026年5月15日
(2) 事業開始日	2026年5月15日

#### 7. 今後の展開

当社は今後、FDE PoC パッケージ展開、大企業向け AI 導入支援、AI エージェント外販、SaaS 型サービス展開、AI Ops サービス展開、海外 AI 技術連携等を順次推進してまいります。

#### 8. 今後の業績への影響

本件による 2026 年 12 月期業績への影響は現在精査中ではありますが、中長期的には当社グループの成長戦略の中核事業として、企業価値向上に寄与するものと考えております。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

(注1) 2025年2月28日付「株式会社 IP パートナーズからの一部事業譲受に関するお知らせ」

(注2) 2025年8月15日付「ファンタラクティブ株式会社の事業譲受に関するお知らせ」

(注3) 2026年5月11日付「コラボテクノ株式会社の株式取得（子会社化）完了に関するお知らせ」

以上